

# 東京文化財ウィーク2004表彰事業

文化財ウィーク事業では、東京都知事賞、東京都教育委員会賞という賞を設けて、参加事業の中から表彰しています。これまでも親子を対象とした事業、ボランティアを活用した事業などが賞を受けています。

平成16年度の東京都知事賞には豊島区の雑司が谷旧宣教師館で行われた『赤い鳥』コンサート・『赤い鳥』を語り継ぐ「おばあちゃんのおはなし会」が選ばれています。日本初の童話童謡雑誌『赤い鳥』にちなんで行われた詩人による作品の朗読と童謡のコンサートです。雑司が谷が大正から昭和にかけて児童文学運動の中心的な地域であったことから企画された創意ある事業で、アメリカ人宣教師の自邸として建てられた東京都指定文化財の建物の雰囲気をもよく生かし、出演者と観客が共に楽しみ、好評を博した事業です。



『赤い鳥』コンサート

東京都教育委員会賞には、大田区郷土博物館で開催された特別展「木象嵌」が受賞しました。この特別展では、江戸時代中ごろからの歴史を持ちながらも廃絶してしまった伝統工芸「麦わら細工」が採り上げられています。「麦わら細工」には動物の姿などを巧みに編む「編み細工」と、麦わら特有の光沢を生かし、これを木箱に張り込む「張り細工」の2種類があります。これらの作品の展示・解説だけでなく、小学生が博物館職員の指導を受けて「張り細工」に挑戦しました。小学



麦わら細工



「麦わら細工」体験風景

校の地域学習として子供たちが伝統的なものづくりを体験でき、学校教育との連携を図った博物館の意欲的な取り組みが評価されました。

16年度表彰事業のこれら2事業の他に、15年度までに東京都知事賞に5事業、東京都教育委員会賞に11事業が表彰されています。これらの多くは、17年度の文化財ウィークにも参加しており、東京都がお勧めする事業としてガイドマップ・プログラムに「みるちゃん」マークが付けられています。もちろん、表彰事業以外にも創意工夫のある素晴らしい事業が目白押しです。自分ならばこれに注目するという事業を数ある中から選んでみてはいかがでしょうか。